

出番待つ春の花苗

室蘭「花ファクトリーあけぼの」

社会福祉法人室蘭言葉学園（菅野登一郎理事長）が運営する花ファクトリーが進んでいる。

ーやピオラが青々と広がり、春本番に向け出荷準備が進んでいる。

けぼの(室蘭市神代町)の  
春出し用花苗は順調に生育  
している。ビニールハウス  
内は、花芽を付けるパンジー  
は、気温差や乾燥に強いベ  
ゴニアのほか、開花期間が  
長くて育てやすいパンジー

ハウス内で育てているのは、気温差や乾燥に強いベゴニアのほか、開花期間が長くて育てやすいパンジー

やビオラなど。甘い香りが魅力のチョコレートコスモス、ピンクや青系など爽やかな色合いが特徴のカンパニュラはゴールデンウィーク前の出荷を目指す。

現場担当者の一人、入江亮佑さん(33)は「生育状況は」こまで順調。皆さんに喜んでもらえるのでは」と

笑顔を見せる。今季の出荷は約25種類で7万株を見込んでいる。

を予定している。花苗の値段は70円(税込み)からを見込む。毎年、色合いなど

スなども並べる予定とい  
う。営業時間は午前10時  
午後4時。6月末まで原則  
無休。

リッあけぼの、電話011-3・50局6582番、入江さん、携帯電話070・797・7237へ。

(浪越崇宏)

春本番を控え、ハウス内で順調に育つ花苗